RV110Wの高度なワイヤレス設定

目的

Web設定ユーティリティを使用すると、RV110Wのさまざまなワイヤレス設定を変更して、 ルータのパフォーマンスを最適化できます。この記事では、RV110Wで高度なワイヤレス設 定を設定する方法について説明します。

該当するデバイス

• RV110W

手順

ステップ1:Web構成ユーティリティを使用して、[**Wireless**] > [Advanced Settings]を選択し ます。[詳細設定*]ページが*開きます。

Advanced Settings	
Advanced Configuration	
Frame Burst:	Enable
WMM No Acknowledgement:	Enable
Basic Rate:	Default 👻
Transmission Rate:	Auto 👻
N Transmission Rate:	Auto 👻
CTS Protection Mode:	© Disabled [●] Auto
Beacon Interval:	100 Milliseconds (Default : 100, Range : 40 - 3500)
DTIM Interval:	1 (Default : 1, Range : 1 - 255)
Fragmentation Threshold:	2346 (Default : 2346, Range : 256 - 2346)
RTS Threshold:	2347 (Default : 2347, Range : 0 - 2347)
Save Cancel	

ステップ2:[Frame Burst]の右側にある[Enable] チェックボックスをオンにして、デバイスの メーカーが許可する最適なパフォーマンスでネットワーク上のワイヤレスデバイスを実行し ます。

ステップ3:WMM No Acknowledgementの右側で、より効率的にデータを送信するために[Enable]チェックボックスをオンにし、より多くのエラーが発生する可能性があります。

ステップ4:[Basic Rate]ドロップダウンメニューから、デバイスが送信できるレートを選択 します。 • 1 ~ 2 Mbps:このオプションは、古いワイヤレステクノロジーに最適です。

[デフォルト(Default)]:このオプションは、すべての標準ワイヤレスレートで送信します。
All:このオプションは、すべてのワイヤレスレートで送信します。

ステップ5:[Wireless Network Mode]が[N-Only]でない場合は、[Transmission Rate]ドロップ ダウンメニューからデータ伝送レートを選択します。ワイヤレスネットワークモードは、 [ワイヤレス] > [基本設**定]で設定できます**。

注:Autoは、利用可能な最速のデータ転送速度を使用します。

ステップ6:[Wireless Network Mode]が[N-Only]の場合は、[N Transmission Rate]ドロップダウンメニューからデータ伝送レートを選択します。

ステップ7:CTS Protection Modeの右側で**Disabledオプションボタンをクリック**し、ネット ワークとの間のすべての無線伝送をチェックするCTS(Clear-To-Send)保護を無効にするか 、**AutoをクリックしてCTS Protectionを必要な場合にのみ使用します。**

ステップ8:[Beacon Interval]フィールドに、パケットが送信されてワイヤレスネットワークが同期される時間(ミリ秒)を入力します。

ステップ9:[DTIM Interval]で、ビーコンパケットにネットワークの新しいデータが含まれる 頻度(Delivery Traffic Indication Message(DTIM)とも呼ばれる)を入力します。

ステップ10:[フラグメンテーションしきい値(Fragmentation Threshold)]に、パケットがフラ グメントに分割される前の最大サイズの値を入力すると、送信が容易になります。

ステップ11:[RTS Threshold]フィールドに、サーバがパケットサイズの再調整を開始する前 のパケットの最小サイズであるRight-to-Send(RTS)しきい値を入力します。

ステップ12:[保存]をクリックし**て変更**を保存するか、[キャンセ**ル]をクリック**して変更を破 棄します。